

J-STAGE 発行機関向けダッシュボード 活用のヒント

令和4年11月1日

国立研究開発法人科学技術振興機構
情報基盤事業部

1. はじめに.....	2
1.1 本資料の目的.....	2
1.2 ダッシュボードにて取得できる情報の利用について.....	2
1.3 凡例.....	2
2. 活用のヒント集.....	3
2.1 「資料の統計情報」タブ.....	3
①単純アクセス数.....	3
②国・地域別アクセス数.....	4
③外部サイト経由のアクセス数.....	5
④ドメイン名別アクセス数および拒否数.....	6
⑤全文 HTML/本文 PDF/書誌画面のアクセス数.....	7
2.2 「記事の統計情報」タブ.....	9
①記事一覧.....	9
②単純アクセス数.....	10
③国・地域別アクセス数.....	11
④外部サイト経由のアクセス数.....	12
⑤ドメイン名別アクセス数および拒否数.....	13
⑥全文 HTML/本文 PDF/書誌画面のアクセス数.....	14
3. ご要望・お問い合わせ.....	15

1. はじめに

1.1 本資料の目的

本資料は、「J-STAGE 発行機関向けダッシュボード機能」（以下、ダッシュボード）の活用
のヒントを紹介するものです。ダッシュボードから得られる様々な情報を、登載誌の運営戦
略の検討や広報活動に役立てていただくことを目的に公開しています。

画面の詳細な操作方法については本資料中では触れませんので、必要に応じてマニュアル
をご覧ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/dashboardManual.pdf>

また、本資料は令和 4 年 11 月 1 日時点の機能をもとに作成しています。今後の機能改修
等により仕様が変更される可能性がありますこと、あらかじめご了承ください。

1.2 ダッシュボードにて取得できる情報の利用について

ダッシュボードにて表示およびダウンロードできる各種データについては、発行機関の判
断においてファイル形式の変更やデータ加工、再配布等、態様を問わずご利用いただけます。
また、それらを学会ホームページや SNS 等の広報媒体へ掲載するにあたっては、J-STAGE
センターへの申請等は不要です。

1.3 凡例



…データを読み解くための観点の例を示しています。



…データにもとづいて、発行機関としてどのようなアクションができるかの例を
示しています。

(⇒ 2.2「記事の統計情報」タブ) …当該項目と関連づけて参照するとよいと思われる項目
を示しています。

2. 活用のヒント集

2.1 「資料の統計情報」タブ

ジャーナル全体のアクセス状況を概観するのに役立ちます。

① 単純アクセス数



閲覧数増加と関連しそうな要因はあるか？

《例》

- 最新号の発行直後にアクセスが増えている
→ジャーナルの動向を継続的に追ってくれている閲覧者が一定数存在する可能性
- (認証付き資料の場合) 認証記事がフリー記事になったタイミングでアクセスが増えている
→購読者番号を持っていないが熱心な閲覧者が一定数いる可能性
- 心当たりの無いタイミングでアクセスが増えている
→何らかの理由で特定の記事が注目されている可能性 (⇒ [2.2「記事の統計情報」タブ](#))



- ジャーナル編集委員会での定常的な情報共有

- 最新号発行に関するお知らせの強化を検討→閲覧数増加を図る

②国・地域別アクセス数

国・地域別アクセス数 ?		世界地図を表示
ランキング	国・地域	アクセス数
1	日本	29,469
2	アメリカ合衆国	28,461
3	ドイツ	6,220
4	中国	3,961
5	香港	1,314
6	カナダ	1,231
7	大韓民国	656
8	イギリス(GB)	550
9	ロシア連邦	260
10	アラブ首長国連邦	222
10	アイルランド	222



どの国からのアクセスが多いのか？

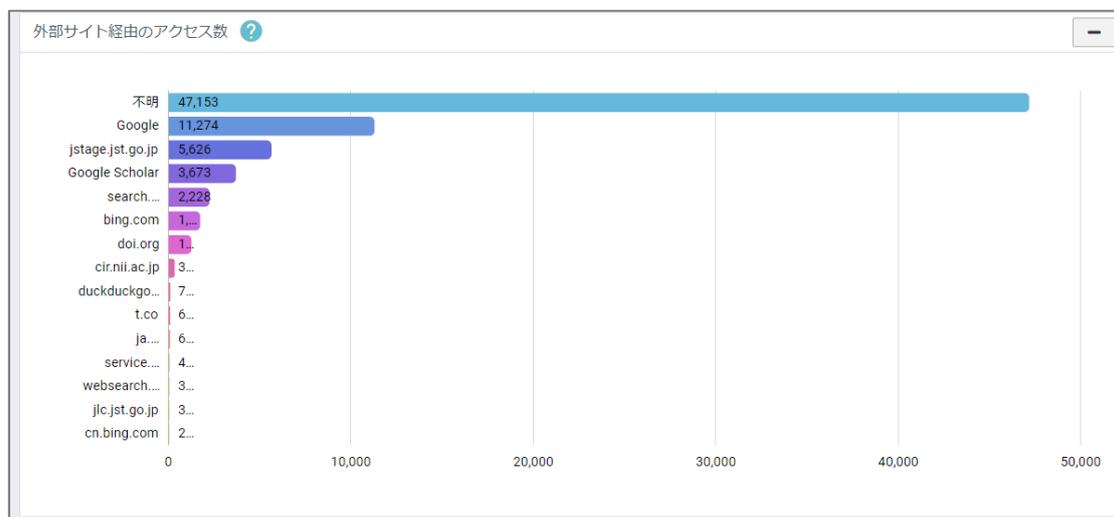
《例》

- これまでターゲットとしていなかった国からアクセスがある可能性
- アクセスの多い国に、自誌で取り扱う内容の研究を盛んに行っている機関がある可能性 (⇒2.1 ④ドメイン名別アクセス数および拒否数)



- 海外からの投稿を呼び込むプロモーションの対象の検討
- 国際会議の共同開催国の検討

③外部サイト経由のアクセス数



閲覧者がどのような経路でジャーナルにたどりついているか？

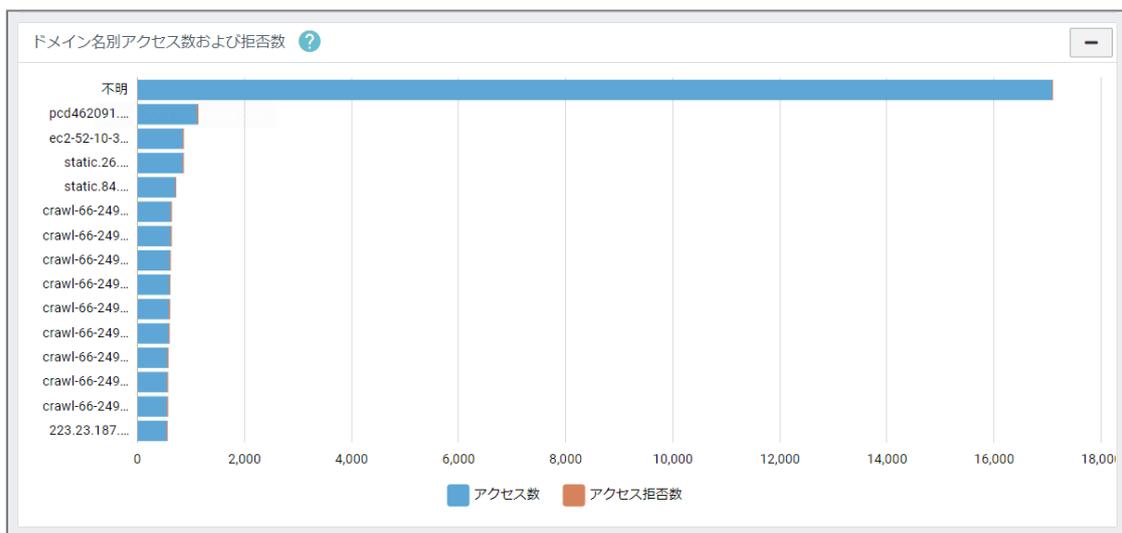
《例》

- 検索エンジン : 「Google」 「search.yahoo.co.jp」 など
 - 研究者コミュニティサイト : 「researchmap.jp」 「researchgate.net」 など
→著者自身あるいは関係者が宣伝している可能性
 - ジャーナルデータベース : 「webofscience.com」 「PubMed」 など、または文献検索サービス : 「Google Scholar」 「cir.nii.ac.jp」 など
→ (一般のウェブサイトなどと区別して) 学術文献を探そうとしている人が多い可能性
 - 一般向けのウェブサイト : 「chiebukuro.yahoo.co.jp」 「wikipedia.org」 など
→論文の記述が引用されている可能性
 - 自学会のウェブサイトのドメイン
 - SNS : 「facebook.com」 「twitter.com」 など
→論文を紹介している SNS の投稿が広くシェアされている可能性
- ※ 「不明」 →以下の可能性が考えられます。
- アクセス元がリファラ (サイトを訪問したユーザーが 1 つ前に閲覧したページ) の情報を消去している…ブラウザの設定によってはリファラを自動消去するようになっている
 - ブックマークからの遷移、URL の直接指定によるアクセス…リファラが存在しないため



- ジャーナルの宣伝方法の検討
- SEO 対策の検討

④ドメイン名別アクセス数および拒否数



どのような属性の人が閲覧しているのか？

個人が契約するインターネットプロバイダのドメインが多数を占めますが、TSV を出力すると大学や企業などからも一定数アクセスされている状況が見て取れるかと思えます。アクセス元がどのような団体かは、トップレベルドメインや独自ドメイン名の文字列*によってある程度推測できます。

《例》トップレベルドメインの代表例

- 「co.jp」：日本国内で登記されている会社・企業
- 「ac.jp」：学校教育法などの規定による日本国内の教育機関
- 「go.jp」：日本国の政府機関、各省庁など
- 「or.jp」：日本国内の特定の法人組織
- 「.org」：個人や非営利団体、非営利組織
- 「.com」：商業組織

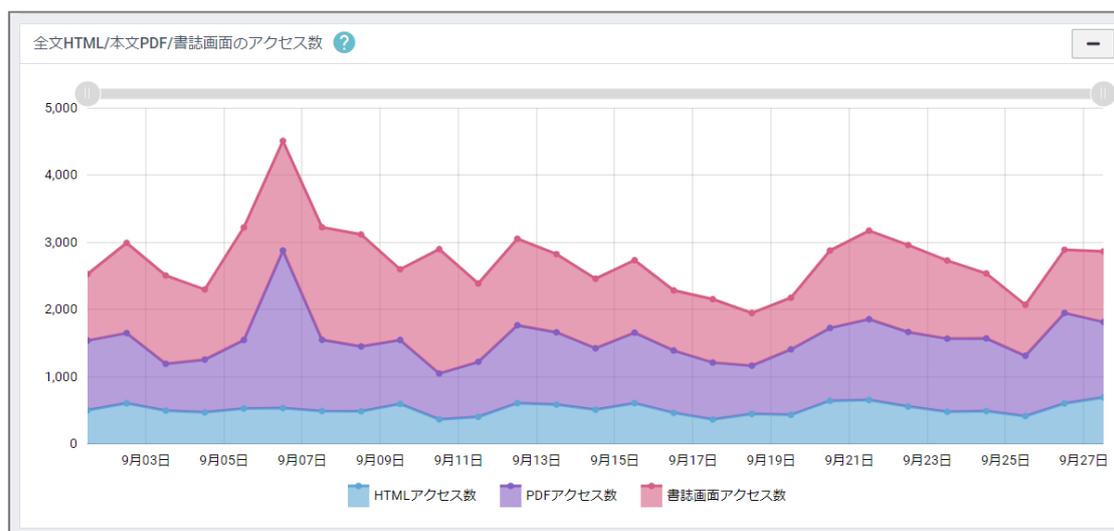
*独自ドメイン名：例えば、「jst.go.jp」なら「jst」の部分

また、認証付き資料の場合はアクセス拒否数も算出されます。特定のドメインでアクセス拒否数が多い場合、潜在的な読者層がいるにもかかわらず本文へアクセスできていない可能性が考えられます。



- 潜在的閲覧者層の掘り起こし
- 認証付き資料の場合…購読契約相手先の検討/オープンアクセスへの転向の検討
※J-STAGE は登載誌のオープンアクセス化を推進しています。

⑤全文 HTML/本文 PDF/書誌画面のアクセス数



本文まで閲覧されているか？本文が読まれずUターンされているか？

《例》

- 書誌画面のアクセス数が極端に多い
→書誌画面を見ただけで終わってしまっている人が多い可能性
- 本文へのアクセス数と比べて書誌画面のアクセス数が極端に少ない
→書誌画面から本文を閲覧するという動線ではなく、Google の検索結果などからダイレ

クトに本文へアクセスしている人が多い可能性 (⇒2.1 ③外部サイト経由のアクセス数)

- (全文 XML 掲載をしている場合) PDF よりも HTML のアクセス数が多い
→スマホやタブレットなどで閲覧している人が多い可能性
※全文 HTML 画面は、デバイスに応じて文字列の折り返しや文字サイズなどが最適化されるため、PC 以外の端末での閲覧にも適しています。



- 全文 XML 掲載 (= PDF に加え、HTML でも本文を閲覧できるようにする) の導入検討
- 本文を読んでもらうための工夫の検討 (⇒2.2 「記事の統計情報」タブ)

2.2 「記事の統計情報」タブ

個々の記事のアクセス状況を分析するのに役立ちます。

① 記事一覧

検索式を入力してください。例) title:"自然言語処理" AND dtcitation:2021							実行	検索式を入力
巻	号	記事タイトル	筆頭著者名	開始ページ・論文	公開日	アクセス数		
60	12	訂正：情報貧国ニッ...	山本 一治	E2	2018/03/28	61		
60	12	情報管理「この本！ ...		b1	2018/03/01	75		
60	12	「芸術のDNA」を模...	宮廻 正明	845	2018/03/01	107		
60	12	コクラン：医療と研...	森 臨太郎	855	2018/03/01	131		
60	12	サイエンスアゴラ201...	安宅 和人	865	2018/03/01	211		
60	12	データベース付きオ...	徳永 勝士	882	2018/03/01	84		
60	12	「情報」とはなにか...	西垣 通	887	2018/03/01	92		
60	12	視点 女性研究者の...	坊農 真弓	891	2018/03/01	107		
60	12	過去からのメディア...	大谷 卓史	894	2018/03/01	102		
60	12	集会報告 シンポジ...	清原 和之	898	2018/03/01	64		
60	12	集会報告 日中韓国...	藤井 昭子	902	2018/03/01	74		
60	12	JSTサービス紹介 国...	坪井 彩子	906	2018/03/01	100		
60	12	JSTサービス紹介 研...	川井 千香子	910	2018/03/01	85		



どのような記事が多くアクセスされているか？

「アクセス数」の列を降順ソートすることで、アクセスランキングを見ることができます。

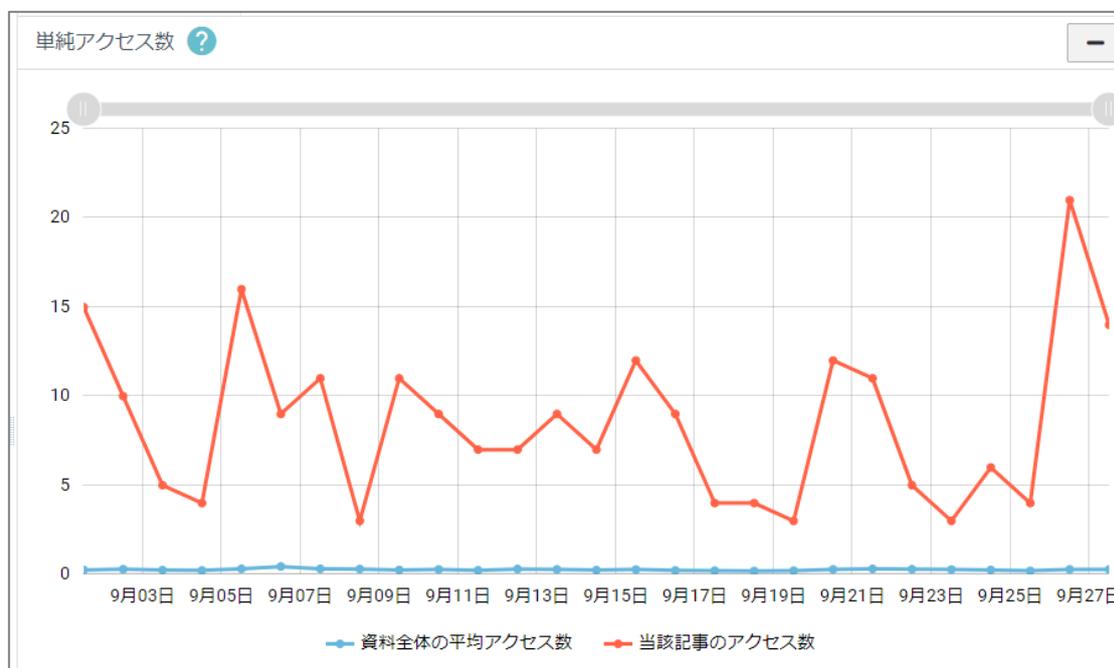
《例》

- アクセス数上位の記事が特定のトピックに集中している
→注目されているトピックの推定
- 集計期間を変えるとアクセス数上位記事のトピックが変動する
→トレンドの移り変わりの推定



- 今後ジャーナルで重点的に取り上げるテーマの検討（特集号など）
- ジャーナル内での論文賞の授賞対象の参考

②単純アクセス数



閲覧数の獲得は短期的か？長期的か？

集計期間を変えることで、その記事がどの時期によく閲覧されていたかがわかります。

《例》

- アクセス数が短期的に突出して増加している
→研究者以外の層からも当該論文に注目が集まっていた可能性 (⇒2.2 ④外部サイト経由のアクセス数)
- 長期的に一定のアクセスを得ている
→確立された内容として広く閲覧されている可能性 (教育の場での利用など)



- J-STAGE 上で「おすすめ記事」として紹介する記事の検討
- アクセス数の多い記事を軸としたジャーナルのプロモーションの検討

③国・地域別アクセス数

国・地域別アクセス数 ?		世界地図を表示	-
ランキング	国・地域	アクセス数	
1	日本	114	
2	アメリカ合衆国	99	
3	ドイツ	9	
4	中国	4	
5	ベトナム	2	
6	フランス	1	
6	アイルランド	1	
6	ロシア連邦	1	



テーマと国・地域に相関が見られるか？

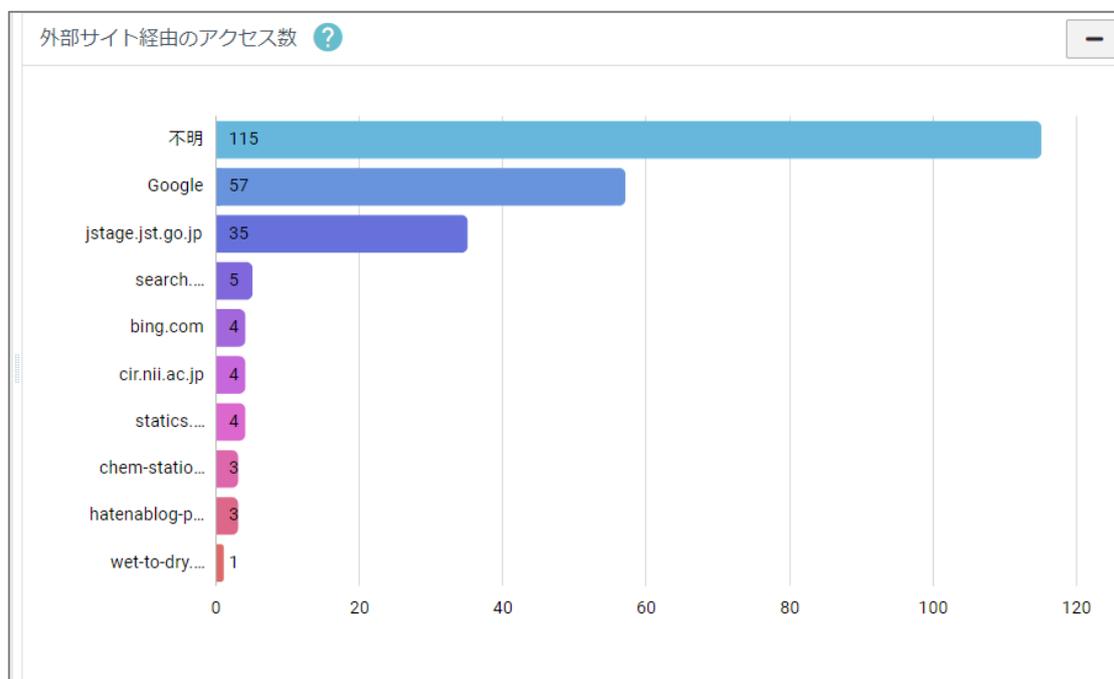
《例》

- TSV データを用いて国・地域×アクセス数で分析→「この国はこの辺りのトピックに興味がありそう」のような傾向が見える場合あり



- 海外からの投稿を呼び込むプロモーションの対象の検討

④外部サイト経由のアクセス数



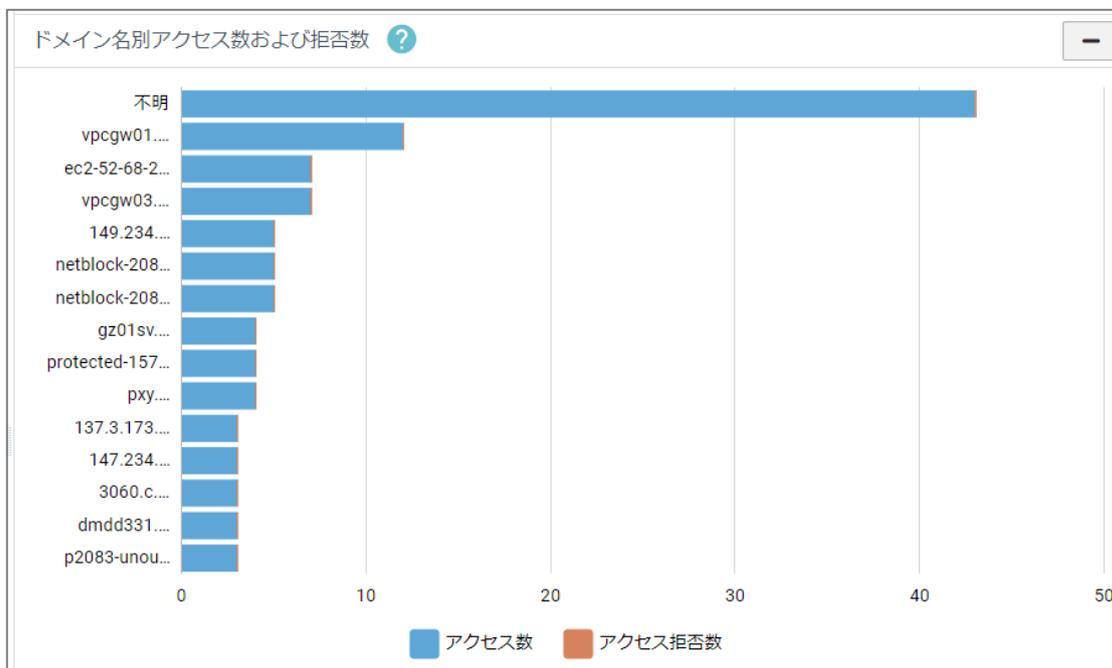
閲覧者がどのような経路で当該記事にたどりついているか？

(⇒2.1 ③外部サイト経由のアクセス数)



- 記事の宣伝方法の検討

⑤ ドメイン名別アクセス数および拒否数



テーマとアクセス元の属性に相関が見られるか？

(⇒2.1 ④ドメイン名別アクセス数および拒否数)

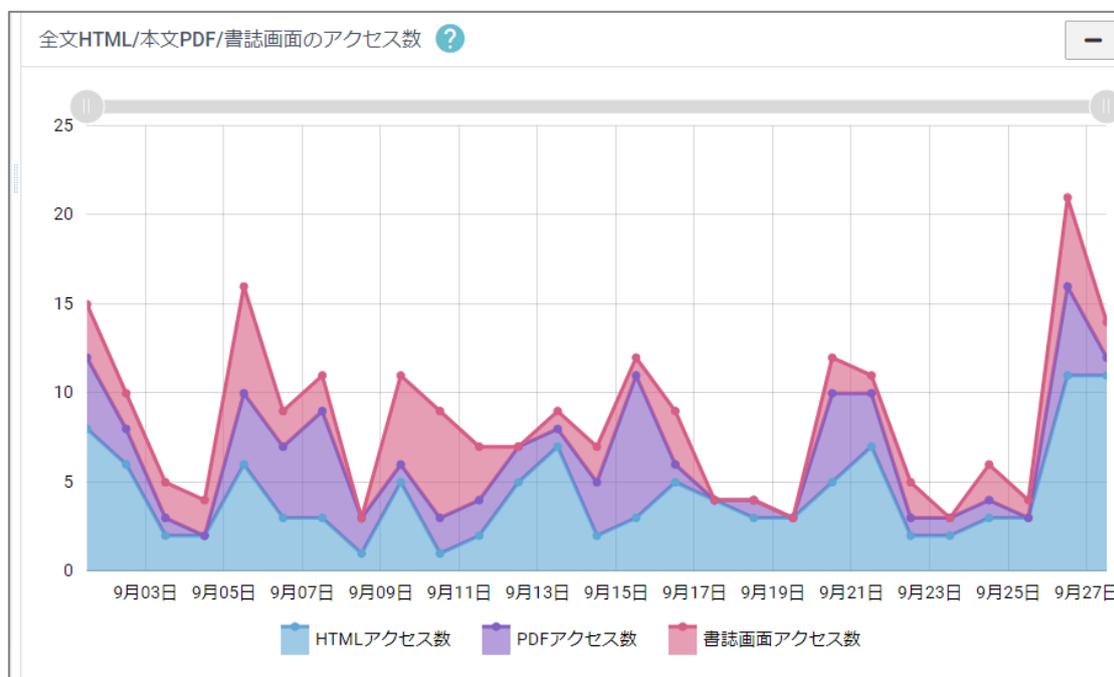
《例》

- TSV データを用いてドメイン×アクセス数で分析→「この所属の人はこの辺りのトピックに興味がありそう」のような傾向が見える場合あり



- 潜在的閲覧者層の掘り起こし
- 認証付き資料の場合…購読契約相手先の検討/オープンアクセスへの転向の検討
※J-STAGE は登載誌のオープンアクセス化を推進しています。

⑥全文 HTML/本文 PDF/書誌画面のアクセス数



本文まで閲覧されている記事に特徴はあるか？

《例》

- 本文まで閲覧されている割合が高い記事の特徴、共通点がある可能性…抄録の書き方、キーワードの設定、グラフィカルアブストラクト、全文 HTML 対応など



- 全文 XML 登載 (= PDF に加え、HTML でも本文を閲覧できるようにする) の導入検討
- 本文を読んでもらうための工夫の検討

3. ご要望・お問い合わせ

ダッシュボード機能に関する不具合の報告や、機能改善・拡張に関するご要望がございましたら、下記のフィードバックフォームからお知らせください。

※フィードバックフォームにお寄せいただいた内容について返信・回答はいたしません。

<https://form.jst.go.jp/enquetes/jstage-feedback-ja>

返信・回答の必要なご相談につきましては、J-STAGE センターへメールにてお問い合わせください。

J-STAGE センター窓口 (J-STAGE 登載機関専用) : center@jstage.jst.go.jp